

平成29年度

事業報告書
及び付属明細書

社会福祉法人 野洲市社会福祉協議会

※本報告書は、社会福祉法に規定する事業報告書及び事業報告書を補足する重要事項である
附属明細書を「事業報告書及び附属明細書」として一体的に作成しています。

平成29年度 社会福祉法人 野洲市社会福祉協議会 事業報告

総括報告

地域のつながりの希薄化など、地域社会を取り巻く環境の変化により住民の抱える生活課題が多様化、複雑化する一方で、地域住民による生活課題の解決能力が低下しています。

また、社会福祉法人制度改革により社会福祉協議会の事業や活動を取り巻く環境も大きく変化してきました。

このような中、本会では地域における生活課題の変容に対し、支えあいのかたちの再編を目指す「地域共生社会」の実現に向けた地域力の強化や、多機能協働による総合的な相談体制の整備を行うとともに、生活支援体制整備事業を軸として地域支援の充実も図りました。

また、地域福祉の充実と推進の中核を担う本会の役割を改めて見直し、複雑かつ多様化した福祉課題に対応できる地域づくりの基盤を整え、人と地域に共感と協力の輪を広げていく活動を推進するための本会の組織基盤となる経営計画の策定にも取りかかりました。

〈実施事業〉

1. 法人運営事業

(1) 役員会等の開催

本会の定款に基づき、地域福祉の推進を図るため、監事会 1 回、正副会長会 2 回、理事会 4 回、評議員会 3 回を開催しました。

□監事会の開催

開催日／出席数	監査事項
5月31日（水） ◇監事 2名	平成28年度 野洲市社会福祉協議会事業報告について 平成28年度 野洲市社会福祉協議会一般会計決算について

□正副会長会の開催

開催日／出席数	審議事項
6月5日（月） ◇会長、副会長 3名	平成28年度 野洲市社会福祉協議会事業報告について 平成28年度 野洲市社会福祉協議会一般会計決算について
3月8日（木） ◇会長、副会長 3名	平成30年度 野洲市社会福祉協議会事業計画について 平成30年度 野洲市社会福祉協議会一般会計予算について

□理事会の開催

開催日／出席数	決議事項
6月13日(火) ◇理事 13名 ◇監事 2名	第1号議案 平成28年度 野洲市社会福祉協議会事業報告について 第2号議案 平成28年度 野洲市社会福祉協議会一般会計決算について 第3号議案 平成29年度 野洲市社会福祉協議会一般会計補正予算第1号(案)について 第4号議案 評議員選任候補者について 第5号議案 次期役員候補者の推薦について 第6号議案 平成29年度第1回評議員会の招集について
6月28日(水) ◇理事 12名 ◇監事 2名	第7号議案 会長・副会長の選任について 第8号議案 常務理事の選定について 第9号議案 評議員選任・解任委員の選任について
11月28日(火) ◇理事 12名 ◇監事 2名	第10号議案 定款の一部改正について 第11号議案 平成29年度 野洲市社会福祉協議会一般会計補正予算第2号(案)について 第12号議案 個人情報保護規程の一部改正について 第13号議案 情報公開規程の制定について 第14号議案 経理規程の一部改正について 第15号議案 嘱託職員の雇用に関する就業規則の一部改正について 第16号議案 臨時職員の雇用に関する就業規則の一部改正について 第17号議案 平成29年度第2回評議員会の招集について
3月14日(水) ◇理事 12名 ◇監事 1名	第18号議案 平成29年度野洲市社会福祉協議会一般会計補正予算第3号(案)について 第19号議案 平成30年度野洲市社会福祉協議会事業計画(案)について 第20号議案 平成30年度野洲市社会福祉協議会一般会計予算(案)について 第21号議案 経理規程の一部改正について 第22号議案 平成29年度第3回評議員会の招集について

□評議員会の開催

開催日／出席数	決議事項
6月28日(水) ◇評議員 24名 ◇監事 1名	第1号議案 平成28年度 野洲市社会福祉協議会事業報告について 第2号議案 平成28年度 野洲市社会福祉協議会一般会計決算について 第3号議案 平成29年度 野洲市社会福祉協議会一般会計補正予算第1号(案)について 第4号議案 役員の選任について 第5号議案 評議員の報酬等に関する規程について 第6号議案 役員の報酬等に関する規程について 第7号議案 会員規程について
12月8日(金) ◇評議員 26名 書面決議 4名	第8号議案 定款の一部改正について 第9号議案 平成29年度野洲市社会福祉協議会一般会計補正予算第2号(案)について

3月22日(木) ◇評議員 28名	第10号議案平成29年度野洲市社会福祉協議会一般会計補正予算 第3号(案)について 第11号議案 平成30年度野洲市社会福祉協議会事業計画(案)について 第12号議案 平成30年度野洲市社会福祉協議会一般会計予算(案)について
----------------------	--

□評議員選任・解任委員会の開催

開催日/出席数	決議事項
6月21日(水) ◇委員 5名	評議員の選任について

□監事研修

開催日/出席数	研修内容
3月15日(木) ◇監事 1名	社会福祉法人監事研修会(滋賀県社会福祉協議会主催) 「社会福祉法人の監事について」 講師:上西祥之会計事務所 所長 上西 祥之 氏

(2) 組織運営の充実強化

□職員人権研修

開催日	研修内容	参加数
6月6日(火)	「児童の人権(自尊感情)、児童の指導について」 野洲市教育員会学校教育課 宇野 比呂久 氏 西山 逸昌 氏	101名 学童保育所
8月22日(火)	視聴覚教材による研修 「心のケアと人権職場編」	21名 福祉企画課 地域支援課

□職員課題別研修

開催日	研修内容	参加数
8月20日(日) 8月27日(日)	避難所開設、運営研修 避難所の適正な開設、運営を目的とした研修(訓練) 講義「避難所とは」 ワークショップ・体験訓練	10名
11月21日(火)	担当事業報告会(担当者より報告) 生活支援体制整備事業について 地域福祉権利擁護事業について	18名
2月22日(木)	接遇マナー研修 講師 アニモ代表 田中 淳博 氏	16名

□職員派遣研修

開催日	研修内容	参加数
6月12日(月)・30日(金) 7月6日(木)	滋賀県社会福祉協議会 階層別研修	1名
9月11日(月) 10月5日(木)・13日(金)	ステップⅡ(中堅研修) キャリアアップ研修	1名
9月8日(金)・9日(土)	滋賀県社会福祉協議会(滋賀県市町社会福祉協議会会長会) コミュニティワーク基礎研修	1名
10月30日(月) 12月8日(金)	滋賀県社会福祉協議会 階層別研修 管理者研修 全国社会福祉協議会管理者キャリアアップ研修	1名

□職員研修(外部)

開催日	研修内容	参加数
4月12日(水)	びわこ南部地域人権啓発連続講座(第247回)	1名
5月10日(水)	びわこ南部地域人権啓発連続講座(第248回)	2名
5月13日(土)	2017年度部落解放・人権政策確立要求びわこ南部実行委員会 第27回定期総会・研修	1名
5月19日(金)	野洲市企業人権啓発推進協議会総会並びに 第1回企業内同和問題経営者研修会	2名
6月14日(水)	びわこ南部地域人権啓発連続講座(第249回)	2名
6月15日(木)	企業内同和問題基礎研修会	11名
7月12日(水)	びわこ南部地域人権啓発連続講座(第250回)	2名
7月13日(木)	事業所内公正採用選考・人権啓発担当者研修会	1名
8月5日(土)	野洲市人権教育研究大会	2名
8月9日(水)	びわこ南部地域人権啓発連続講座(第251回)	2名
9月2日(土)	野洲市同和問題講演会	2名
9月13日(水)	びわこ南部地域人権啓発連続講座(第252回)	2名
9月14日(木)	第1回事業所内「人権啓発担当者・交流会」	1名
9月15(金)・16日(土)	滋賀県生活支援コーディネーター養成研修	2名
10月11日(水)	びわこ南部地域人権啓発連続講座(第253回)	2名
10月12日(木)	事業所内人権啓発、経営者・管理者研修	1名
11月13日(月)	和田部落解放文化のつどい	1名
11月16日(木)	びわこ南部地域人権啓発連続講座(第254回)	2名
11月17日(金)	部落解放人権政策第22回びわこ南部地域研究集会	1名
11月17日(金)	じんけんとふくし推進講座	1名
11月24日(金)	じんけんとふくし推進講座	1名
11月25日(土)	野洲市部落解放をめざす女性のつどい	1名
12月8日(金)	第2回「事業所内公正採用選考・人権啓発担当者研修会」	1名
12月13日(水)	びわこ南部地域人権啓発連続講座(第255回)	2名
1月10日(水)	びわこ南部地域人権啓発連続講座(第256回)	2名

1月24日(水)	第2回事業所内「人権啓発担当者・交流会」 兼しが企業内人権啓発セミナー	1名
2月10日(土)	部落解放研究第23回滋賀県集会	1名
2月14日(水)	びわこ南部地域人権啓発連続講座(第257回)	2名
2月24日(土)	第11回人権尊重をめざす市民のつどい	1名
2月28日(水)	4市企業人権(同和)教育推進協議会交流研修会	1名
3月14日(水)	びわこ南部地域人権啓発連続講座(第258回)	1名

□野洲市への職員研修派遣

派遣先	派遣人数
社会福祉課・市民生活相談課・障がい者自立支援課・地域包括支援センター	5名

□運営会議

運営方針や重要施策の計画決定等に関する協議を行うため、会長、事務局長、事務局次長、課長、課長補佐により毎月1回(12回)開催しました。

□調整会議

事務局内の調整及び相互の連携を図るため、会長及び主査以上により毎月1回(12回)開催しました。

□地域担当者会議

地域福祉の推進を目的に、各コミュニティ単位に地域担当者を配置し、担当者間の情報交換及び地域事例を通じた話し合いの場として毎月1回(12回)開催しました。

	開催日	協議内容
1	4月5日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の居場所について ・生活支援体制整備事業の取り組みについて ・地域の動きについて情報共有
2	5月2日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・サロン補助金について ・子ども食堂について ・地域における民生委員児童委員の関わりについて ・地域の見守りと個人情報の取り扱いについて
3	6月7日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設入所の認知症高齢者の地域徘徊について ・地域の空き家から関係者が協力し解決するには ・地域の見守りについて(関係者間の役割分担)
4	7月5日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・命のバトンの活用方法について ・生活支援体制整備事業について(進捗状況報告)
5	8月2日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の高齢者の見守りについて ・高齢者の居場所づくりについて ・戸別の課題を地域課題として取り組んだ事例報告

6	9月4日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・民児協役員会との福祉懇談会開催について ・見守りリストの活用について ・住宅火災警報器について(交換時期の詐欺等防止について)
7	10月4日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・不用品回収に伴う地域での出来事 ・生活支援体制整備事業について(進捗状況報告)
8	11月8日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・HUG訓練(避難所運営訓練)について ・民児協の防火訪問について (民生委員児童委員・利用者・支援者が繋がることが出来た事例)
9	12月6日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・台風21号時の民生委員児童委員の地域での見守り ・生活支援体制整備事業について(進捗状況報告) ・「助け合いゲーム(支え合い助け合い体験ゲーム)」について
10	1月5日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援体制整備事業について(進捗状況報告) ・地域の見守り体制について
11	2月7日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援体制整備事業について(進捗状況報告) ・命のバトンの活用について ・認知症見守りシールの啓発について
12	3月7日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援体制整備事業について(進捗状況報告) ・地域での見守りシステムについて ・社協職員の業務見えるかについて

2. 広報・啓発事業

(1) 広報誌「社協やす」の発行(共同募金配分金を一部活用)

地域福祉活動への関心と理解を深めるため、広報誌「社協やす」を発行し、社会福祉協議会の活動や市内で活動しているボランティア団体・小地域福祉活動について広く市民に情報発信を行いました。

発行日	6・9・12・3月の各15日(年4回発行 No.72~75)
発行部数	17,110部×4回
主な掲載内容	<p>6月 平成29年度重点事業・事業計画・予算/野洲市社協障がい者相談支援センター案内/野洲市障がい者スポーツ大会および福祉交流事業案内 各種ボランティア募集/お知らせ版</p> <p>9月 平成28年度事業報告決算報告/第2回サロン担い手交流会案内/赤い羽根共同募金の案内/民生委員制度創設100周年記念滋賀県民生委員児童委員大会報告/作品紹介/ファミリーサポートセンター講習会&交流会の案内/母子・父子家庭ふれあい事業の案内/お知らせ版</p> <p>12月 生活支援体制整備事業の案内および活動紹介/歳末たすけあい募金運動案内/社協賛助会費お礼/福祉体験授業を受けて(生徒感想) 地域福祉権利擁護事業案内/お知らせ版</p> <p>3月 社会福祉大会報告/共同募金運動報告・お礼/社協賛助会費お礼/ 実習生感想/ボランティア保険加入/ファミサポ事業報告/車椅子貸出案内/学童保育所職員募集/お知らせ版</p> <p>* (新規) 広報委員会の開催: 8/7 9/5 11/29 計3回 参加人数7名</p>

(2) ホームページの公開

広報啓発活動の一環として、リニューアルしたホームページを作成し、インターネット上で公開しています。(http://www.yasu-syakyo.or.jp)

(3) 社会福祉大会の開催

福祉功労者・団体の表彰や記念講演を通して、市民の福祉に対する認識を高めるとともに、実践と連携の輪を深め合うことを目的として開催しました。

開催日	平成 30 年 1 月 27 日(土)
開催場所	野洲市総合防災センター
参加者	152 名 (平成 28 年度実績 159 名)
表彰者	◇福祉功労者・団体表彰 6 名 3 団体 滋賀県共同募金会感謝状伝達 2 団体 (表彰選考委員会) 平成 29 年 11 月 28 日(火)
講演会	『見えない貧困に光をあてる ～子どもの支援の現場から～』 講師：滋賀県教育委員会 スクールソーシャルワーカー・社会福祉士 上村 文子 氏

◎事業効果

講演会では子どもたちの「見えない貧困」を社会の課題と位置づけ、その解決のために地域でどのように見守り育てていくかについて、具体的にわかりやすく説明していただき、実践的な取り組みとして、市内外での子ども食堂などの取り組みも紹介いただきました。

(4) 広報等音訳事業

行政等が発行する啓発・広報誌等を音訳し視聴覚障がいのある方への情報提供を行いました。

	平成 29 年度	平成 28 年度
実施回数	12 回(毎月 1 日配布)	12 回(毎月 1 日配布)
実利用者数	9 名	9 名

*事業協力ボランティア：朗読ボランティア「さえずり」

*音訳内容：広報やす

(5) 社会福祉協議会会費

市民、企業、各種団体等からご協力いただいた会費は、社会福祉協議会が行う地域に向けた様々な福祉事業の貴重な財源として住民の皆様に還元できるよう活用させていただきました。

区分	平成 29 年度	平成 28 年度
	金額	金額
一般会費	8,160,700 円	8,397,700 円
特別会費	726,450 円	526,000 円
賛助会費	520,000 円	555,000 円
計	9,407,150 円	9,478,700 円

3. 地域福祉事業

(1) 地域福祉活動の推進支援

□生活支援体制整備事業（第2層の取り組み）

小学校区単位の話し合いの場（協議体）設立に向けて、自治会単位での取り組みや地域の資源、地域の実状把握に取り組みました。

① 第2層 実施体制

生活支援体制整備事業開始時期		平成29年4月1日（野洲市より第2層を受託）
生活支援 コーディネーター	活動区域	2層（小学校区等单位）
	配置人員	1名
協議体 （平成29年度は1学区のみ）		・篠原学区協議体 （自治会長・民生委員・老人クラブ・ 赤十字奉仕団・コミセン 計12名）
事務局		野洲市社会福祉協議会

② 懇談会開催状況

区域	学区	自治会	懇談会等開催回数
	野洲学区		3回
		自治会 (6)	7回
	北野学区		3回
		自治会 (0)	0回
	三上学区		4回
		自治会 (8)	8回
	祇王学区		2回
		自治会 (0)	0回
	篠原学区		5回
		自治会 (7)	7回
	中里学区		2回
		自治会 (6)	6回
	兵主学区		2回
		自治会 (4)	4回
自治会交流等			3回
その他（関連事業等）			6回
合 計	学区関係 合計		21回
	自治会関係 合計		35回
	その他（関連事業等）		6回

《地域資源の把握から》

地域には各種団体が存在し、地域を支えながら活動されていますが、各種団体が集まって交流したり情報交換したりする機会が少ない状況です。

今回、生活支援体制整備事業をきっかけとして地域へ伺いお話をさせていただくことで、各種団体の方々が一堂に集まって自分たちの取り組みや地域の気になることを話してもらうことができ、地域で気になっていたことが実はみんな気になっていたというケースもありました。

また、地域には様々なグループがあり、地域の担い手となる老人クラブや女性会(婦人会)などの組織的に活動されている団体とは別個に意外と多かったのが個々の目的に応じた小グ

ループで、みなさんがいきいきと活動されていました。

それぞれのグループが活動されている中で、顔が見えないと互いに気にかけたり、訪問したりして見守っておられます。

このような日々何気なくされていることを「それって見守りになりますよね。」という何気ない会話から「最近顔が見えないのは何かあったのかな。」と心配し合えることが大切です。

個人情報の保護の観点から『他人を監視しない＝見守らない』という感じですが、やはり目の前で困っている方がおられたらほっとけないと思います。地域でいつまでも安心して暮らし続けられるために今一度地域に目を向けて『今何が出来るのか。』地域づくりとしての『一歩』を踏み出していただけるよう取り組んでいきます。

次年度以降、聞き取りが最終目標ではなく、ここから地域について考えてもらうきっかけになるよう地域に働きかけていきます。

□地域福祉活動推進事業補助金（共同募金配分金を活用）

地域福祉活動の促進を目的として、学区自治連合会が実施する地域福祉活動推進事業に対して運営に要する経費の補助を行いました。

学区	補助額	主な活用事業内容
野洲学区	50,000 円	・第13回コミセンやす秋まつり
北野学区	50,000 円	・老人クラブ連合会による公共施設の草引き・清掃活動 ・コミセン北野杯グランドゴルフ大会
三上学区	50,000 円	・悠紀まつり (地域交流イベント・コミセン利用者発表の場・地域農業組合による地産農産物の展示販売・四国香南市夜須町との交流販売)
祇王学区	50,000 円	・第26回子育て報告会 祇王幼稚園児の歌発表・祇王小学校、野洲北中学校生の作文発表
篠原学区	50,000 円	・しのっ子ワクワク合宿（1泊2日） キャンプファイヤーなど
中里学区	50,000 円	・歴史探訪「坂本龍馬ゆかりの地、伏見を訪ねて」 ・天体望遠鏡づくり&観測
兵主学区	50,000 円	・茶道クラブ・華道クラブ・陶芸教室 ・クッキング教室・広報誌の発行・ひょうず収穫祭

□学区別懇談会

各学区自治連合会別に懇談会を開催し、社会福祉協議会の事業についての理解を深めていただく機会とするとともに自治会長との意見交換を行いました。

学区	開催日	開催場所
野洲学区	7月15日(土)	コミュニティセンターやす
北野学区	6月25日(日)	コミュニティセンターきたの
三上学区	7月1日(土)	コミュニティセンターみかみ
祇王学区	6月3日(土)	コミュニティセンターぎおう
篠原学区	6月7日(水)	コミュニティセンターしのはら
中里学区	6月30日(金)	コミュニティセンターひょうず
兵主学区		

□小地域活動支援

- ・地域福祉について地域で協議されている場（会議）に地域担当者が伺い、住民主体の取り組みに協力・支援を行いました。
- ・学区民生委員児童委員協議会定例会に地域担当者が出席し、地域の実情を把握するとともに、地域課題に対してのアプローチ方法を民生委員児童委員の方と検討し、連携を取りながら課題解決に取り組むことができました。
また、地域担当者会議において各学区民生委員児童委員協議会定例会の情報を共有し、地域課題に対してどのように対応していくのか検討等行いました。

【民生委員児童委員協議会定例会出席回数】

野洲学区	北野学区	三上学区	祇王学区	篠原学区	中主学区
12回	12回	12回	12回	12回	12回

(2) ふれあいサロン運営支援

地域における高齢者の生きがいがづくりや閉じこもり予防、並びに地域の支えあい活動を促進することで、地域の見守り活動支援体制を推進することを目的に小地域ふれあいサロン事業の運営支援を行いました。また、地域で高齢者や子育て中の保護者が気軽に寄り合える居場所（サロンの）の立ち上げについて、立ち上げから実施までの相談、支援を行いました。

□サロン担い手交流会の開催

サロン担い手からの「毎月のサロンメニューについて困っている。」という声を受け、サロン担い手やこれからサロンを実施したいと考える方々を対象としたサロン担い手交流会を開催し、工作ボランティアの協力を得てサロンで使える工作講習会・情報交換、サロン運営に役立つ情報の提供を行いました。

開催日	会場	参加者	職員	ボランティア
6月13日(火)	コミセンみかみ	13名	2名	1名
6月21日(水)	コミセンやす	29名	3名	1名
6月30日(金)	コミセンひょうず	20名	2名	2名
11月7日(火)	コミセンなかさと	5名	2名	0名
11月17日(金)	コミセンきたの	8名	3名	0名
11月24日(金)	コミセンぎおう	32名	2名	3名
12月1日(金)	コミセンしのはら	21名	2名	3名
合計		128名	16名	10名

◎事業効果

各地域で行われているサロンの状況や運営について話をしてもらい、担い手が地域での活動に情報を活用してもらうことが出来ました。
交流会では、地域で取り組んでおられる内容や日頃の悩みを話など、同じ担い手として困った時に相談が出来る人と人とのつながりもできました。

□サロン活動補助金

●高齢者ふれあいサロン

高齢者を対象とした生きがいくくりや閉じこもり予防を目的とした小地域ふれあいサロン事業に対して運営に要する経費の補助を行いました。

(＊補助基準：1回あたり5,000円を基準に、1サロン12回を上限として補助する。)

自治会等	開催数	自治会等	開催数	自治会等	開催数
野洲 (ふれあいサロン)	12回	北 桜	12回	比 江	18回
野洲 (サロンこのぞ)	14回	南 桜	5回	小比江	4回
四ツ家(幸せサロン)	12回	近江富士1区	12回	北比江	13回
四ツ家 (ベビーマーケット)	12回	近江富士2区	12回	乙 窪	2回
大 畑	12回	近江富士3区	6回	錦の里	12回
万葉台 (ふれあいサロン)	12回	近江富士4区	6回	吉 地	6回
万葉台 (万葉クラブ)	17回	近江富士5区	11回	吉 地	8回
行 畑	12回	近江富士6区	14回	西河原	1回
小篠原	12回	上 町	12回	比留田 (きらくサロン)	42回
桜 生	12回	下 町	11回	比留田 (なかよし広場)	1回
駅 前	11回	江 部	12回	木 部	12回
青葉台	12回	中 北	12回	八 夫	2回
和 田	12回	北 (わかば会)	12回	虫 生	4回
市三宅	12回	北 (ウィズ・ユー)	12回	野田 (おしゃべり会)	6回
久野部東	46回	上 屋	12回	野田 (お元気です会)	12回
栄六区連合会	12回	富波甲	12回	五 条	3回
五之里	8回	松陽台	12回	堤	10回
湖州平	12回	富波乙	12回	井 口	7回
富士美台	12回	小 堤	12回	六 条	6回
山 出	13回	入 町	11回	吉 川	11回
東林寺	11回	長 島	12回	野洲学区合計	162回
前 田	10回	高 木 (サロン)	24回	北野学区合計	102回
小中小路	10回	高 木 (なかよし)	12回	三上学区合計	197回
大中小路	6回	小南 (友愛)	12回	祇王学区合計	119回
七間場	47回	小南 (サロン)	12回	篠原合計	107回
妙光寺	22回	篠原駅前	12回	中里学区合計	119回
				兵主学区合計	55回
計：72サロン／867回開催 (補助対象：728回) ／補助額合計 3,589,342円					

●子育てサロン（共同募金配分金を活用）

乳幼児（未就園児）の子育て中にある保護者を地域で支援するサロン活動を促進することを目的として、子育てサロン支援事業に対して運営に要する経費の補助を行いました。

（＊補助基準：1回あたり3,000円を基準に、1サロン12回を上限として補助する。）

自治会等	サロン名	開催数
野洲学区自治連合会	わくわく親子ひろば	11回
駅前自治会	駅前ひよこクラブ	12回
北野学区自治連合会	北野っ子ひろば	11回
みすいでん自治会	パンダクラブ	12回
竹ヶ丘自治会	たけのこ広場	12回
三上学区自治連合会	さくらんぼクラブ	12回
祇王学区自治連合会	ぼかぼか広場	12回
富波野自治会	よちよちサロン	23回
篠原学区自治連合会	篠っ子おやこひろば	8回
中里・兵主学区自治連合会	ルンルンおやこひろば	10回
比江自治会	比江カンガルークラブ	3回
北比江自治会	ハートサロン	12回
吉地自治会	吉地子育てサロン	3回
野田自治会	野田子育てサロン	12回
計：14サロン／153回開催（補助対象：142回）／補助額合計426,000円		

□サロン等備品貸出事業

自治会等で開催されるふれあいサロンや子ども会行事等で活用していただける備品の貸出を行いました。

【備品貸出内訳】 計714台（延べ貸出日数）

備品名	貸出日数	備品名	貸出日数
カロム	239日	輪投げ	132日
ハンドベル	82日	魚魚（とと）合わせ	34日
ビンゴゲーム	11日	バックコン	16日
唱歌カルタ	6日	スローイングビンゴ	17日
シャッフルゲーム	13日	ゲーゴルゲーム	41日
スマイルゲートボーリング	56日	ピンダー	20日
ソフトダーツ	31日	釣りっこ	16日

*主な貸出先：小地域ふれあいサロン・子ども会・老人会・自治会・学校・福祉団体・福祉施設等

□子ども会育成事業

次世代を担う児童を地域で健全に育成していくことを目的として、自治会等における子ども会の活発な運営を支援するため、活動経費の一部に補助を行いました。

(*補助基準：10,000円+150円×児童数)

自治会等	児童数	自治会等	児童数	自治会等	児童数
野洲	61名	富波湖州平	31名	新上屋	11名
四ツ家	78名	第二湖洲平	20名	富波甲	100名
大畑	25名	富士美台	22名	富波野	65名
万葉台	30名	アルティマ野洲	12名	富波松陽台	73名
行畑(行合)	35名	ヴァルネブ野洲	20名	富波乙	22名
行畑(古里)	28名	竹ヶ丘	74名	野洲の里	30名
行畑(中畑)	144名	山出	12名	見星寺ルゾクマン	62名
小篠原	159名	東林寺	3名	富波東	43名
桜生	69名	前田	15名	篠原学区自治連合会	161名
駅前	85名	小中小路	10名	比江	54名
青葉台	4名	大中小路	7名	小比江	2名
レックス	22名	七間場	41名	北比江	12名
グランプルー	39名	妙光寺	12名	錦の里・乙窪(合同)	26名
エスリード野洲第2	20名	北桜	5名	吉地	111名
和田	24名	南櫻	20名	西河原	156名
市三宅	134名	近江富士1区	23名	比留田	69名
五反田	8名	近江富士2区	13名	木部	22名
山田	8名	近江富士3区	13名	虫生	22名
縄手	13名	近江富士5区	26名	八夫	38名
樋ノ尻	12名	近江富士7区	6名	野田	38名
稲辻	19名	上町	58名	五条	13名
富波南	13名	下町	3名	須原	14名
久野部	57名	江部	67名	堤	15名
久野部東	29名	中北	3名	井口	15名
竹生	6名	北	11名	六条	23名
五之里	6名	上屋	9名		
計 79自治会 / 補助額合計 1,288,450円					

(3) ボランティア活動推進事業

□ボランティア保険の受付

保険に加入いただくことで、安心してボランティア活動や行事を行っていただくことができるよう保険加入の案内・受付を行いました。

保険種類（保険料）		平成 29 年度	平成 28 年度
ボランティア活動保険	登録グループ数	62 グループ	54 グループ
	Aプラン（350 円）	1,296 名	1,313 名
	Bプラン（510 円）	18 名	18 名
	天災 A（500 円）	9 名	7 名
	天災 B（710 円）	56 名	43 名
ボランティア行事用保険（最低保険料 560 円）		258 行事	198 行事

【ボランティア活動保険】

日本国内におけるボランティア活動中におこる様々な事故に対する備えとして無償で活動するボランティアの方々を補償する制度

【ボランティア行事用保険】

本会の構成員や会員である団体・グループ及び本会等が主催者となり地域福祉活動やボランティア活動の一環として行う各種行事における様々な事故に対する備えの補償制度

□視覚障がい者への情報提供

視覚障がい者に対し、各種広報・チラシ等を本会に登録されているボランティアの協力を得て情報を音訳・点訳し提供しました。

【主な音訳・点訳内容】社協やす、議会だより、ゴミカレンダー、人推協だより、時刻表 他

*音訳ボランティア：朗読グループさえずり

*点訳ボランティア：野洲点字サークル

*配布ボランティア：個人ボランティア

◎事業効果

広報等の音訳・点訳したものを毎月 1 日に情報が届くように、配布ボランティアの協力を得て対象者宅に配布することで、情報提供だけでなく日常の見守りにもつながり、異変や気がかりなことがあれば連絡が入るようになり、安否確認等に繋がりました。

□ボランティア連絡協議会支援

ボランティアの連携や会員相互の親睦を図ることによりボランティア活動を広げていくとともに、会員の資質向上を目指すことを目的としているボランティア連絡協議会の活動支援を行いました。

□ボランティアグループ活動支援

ボランティア登録されている団体に対し、ニーズにあったマッチングを行うとともに、安心して活動いただくためのボランティア活動保険の加入案内や活動の相談や支援を行いました。

□ボランティア活動補助金（共同募金会配分金を活用）

ボランティア活動の活性化を図るため、グループ活動費の補助を行いました。

要約筆記サークルチェリー	20,000 円	寿会	10,000 円
野洲朗読グループさえずり	20,000 円	レク・すだれ	10,000 円
手話サークルあゆみ	20,000 円	ラス・フローレス	10,000 円
野洲市聴覚障害者協会	20,000 円	冬香色	20,000 円
日本車椅子レクダンス協会	20,000 円	野洲点字サークル	20,000 円
野洲市ボランティア連絡協議会	60,000 円		
計 11 グループ 補助額合計 230,000 円			

□学習支援事業

●やすクールへのボランティア派遣

夜間（午後 6 時）から実施される学習前に軽食（おにぎり）を提供するため、炊飯・おにぎりボランティアとして協力していただくボランティアを募り派遣を行いました。

実施日時	毎週水曜 午後 4 時～（45 回）
登録数	炊飯ボランティア 1 名 おにぎりボランティア 13 名（毎回 4 名ずつの当番制）

ボランティアと生徒交流会

開催日	内容（メニュー）	参加
4 月 12 日（水）	開校式	生徒 22 名 ボランティア 6 名
1 月 14 日（日）	餅つき大会	生徒 11 名 ボランティア 10 名
3 月 28 日（水）	終了式	生徒 17 名 ボランティア 11 名

□レイカディア大学のボランティア紹介

レイカディア大学の学習課題で地域でのボランティア活動を 2 日間実施するにあたり、今後の活動につなげるきっかけとなるよう市内の活動についての紹介、対応しました。

期 日	12 月 14 日	12 月 21 日
参加者数	8 名	2 名

□社会福祉援助技術実習生の受入れ

社会福祉士国家試験受験資格取得に必要な社会福祉援助技術現場実習として実習生 2 名を受け入れました。

実習期間：平成 29 年 11 月 1 日～12 月 8 日（計 24 日間）

龍谷大学 3 回生 2 名

□福祉推進校支援（共同募金配分金を活用）

小・中学校及び高等学校の児童・生徒を対象に、ボランティア活動を通じて身近な福祉問題の理解と関心を高め、社会連帯・社会奉仕の心を養うとともに、児童・生徒を通じて家庭および地域社会へのボランティア精神の啓発を図ることを目的として支援しました。

学校名	補助額	主な活用事業内容
三上小学校	20,000 円	野洲養護学校（北桜校舎）児童生徒との交流 人権福祉委員会の活動 赤い羽根共同募金活動 ペットボトルキャップ・プルタブの収集 視覚障がい者理解・調べ学習
祇王小学校	20,000 円	手話・点字・車いす・アイマスク等の体験学修 ボランティア活動について学習・実践 赤い羽根共同募金活動
篠原小学校	20,000 円	篠っ子わくわくコンサートに地域の方招待 地域の方と昔遊び 篠原焼・篠原糰作りなどを通じた地域交流 赤い羽根共同募金活動・ユニセフ募金への参加 野洲養護学校生徒との交流 特別支援学級による年間とおしてお誕生日の葉をプレゼント 特別支援学級作成カレンダーを全校配布 盲導犬の話聞く
中主小学校	20,000 円	中主幼、あやめ保の5歳児との交流 野洲養護学校児童との交流 視覚障がい者について盲導犬ユーザーによる講演 老人クラブと昔遊び 赤い羽根共同募金活動 牛乳パック・アルミ缶・ベルマーク回収
野洲北中学校	20,000 円	福祉体験学習 ・アイマスク体験および講演 地域清掃活動 ゴミ拾い活動
中主中学校	20,000 円	福祉体験実技講座（ボランティアグループによる指導） ・車いすレクダンス・腹話術・朗読・自助具づくり （各コーナー4回シリーズ）
野洲高等学校	20,000 円	クリーン活動（駅前自治会との共同ボランティア）
計 7校 / 補助額合計 140,000 円		

(4) 車椅子貸出事業

一時的に車椅子を必要とする人に対し、車椅子を貸出することにより日常生活を支援することを目的に実施しました。

【貸出先・貸出台数】

	個人	学校	自治会	その他	計
平成 29 年度	2,230 台	158 台			2,388 台
平成 28 年度	1,794 台	224 台	2 台	8 台	2,028 台

(5) 命のバトン配布事業

高齢者世帯や心身に障がいのある方を対象に、急病や災害等の緊急時に救急隊員及びかけつけた方へ持病やかかりつけの病院などの情報をより早く的確に知らせるため、必要な情報を保管する容器やシートの配布を行いました。

	野洲	北野	三上	祇王	篠原	中里	兵主	計
配布世帯数	303	121	310	166	95	244	132	1,371
利用人数	457	181	543	242	139	358	191	2,111

(6) 善意銀行の運営

市民の善意の預託（金員・物品）を受け、地域福祉の促進のために、社協の事業や福祉施設、生活困窮者等へ配分し、効果的に活用させていただきました。また、災害により被害を受けた被災世帯に対し、見舞金をお渡ししました。

預託件数		個人	団体	企業	その他	計
	金員預託	8	17	3	0	28件 (835,888円)
物品預託	18	13	5	0	36件 (米、保存食等)	
払出先	金員預託	福祉団体活動助成金、車椅子貸出事業、サロン貸出備品拡充、災害見舞金等				
	物品預託	学童保育所やファミリー・サポート・センター、車椅子貸出事業等の本会事業、市内障がい者施設、こども食堂、生活困窮者支援等				

◎事業効果

- ・市民からの善意の金銭や物品の預託を受け、必要としている福祉施設や生活に困られている方などに繋げることができました。
- ・相談支援のなかで、預託物品の生活物品等を支援することで、緊急性のある場面にも対応することができました。

(7) 福祉団体支援

福祉団体育成事業

市内の福祉団体の活動や事業に対する補助・支援を行いました。

●活動助成 *計8団体 / 補助額合計 342,500円

- ・野洲市母子福祉のぞみ会
- ・野洲市介護者家族の会
- ・野洲市老人クラブ連合会
- ・野洲市民生委員児童委員協議会

(内、以下4団体共同募金配分事業 / 補助額合計 45,000円)

- ・野洲市ことばを育む会
- ・野洲養護学校 野洲地区
- ・野の花会
- ・たんぽぽの会 (野洲市精神障害者患者家族会)

●事業助成 *計4団体5事業 / 補助額合計 882,000円

- ・野洲市母子福祉のぞみ会
- ・野洲市遺族会
- ・野洲市障害者関係団体連絡協議会

(内、以下2団体共同募金配分事業 / 補助額合計 200,000円)

- ・野洲赤十字奉仕団
- ・野洲市障害者関係団体連絡協議会

□介護者家族の会

在宅介護で介護されているご家族の会への活動支援を行いました。

□民生委員児童委員協議会

民生委員法第 24 条に定める任務の遂行と円滑な運営を図ることを目的とする民生委員児童委員協議会の事務局として活動支援を行いました。

【主な活動支援】

- ・役員会 12 回（毎月第 1 月曜日）
- ・臨時役員会 3/27
- ・各学区定例会 12 回（毎月任意の日）×6 学区
- ・主任児童委員定例会 12 回（毎月第 3 月曜日）
- ・総会 4/28
- ・広報委員会 5/23 8/7 9/5 10/17 11/29 1/22 2/6 3/26（計 8 回）
- ・広報紙「民生・児童委員だより」発行 3 月発行
- ・研修検討委員会 2/13 3/20（計 2 回）
- ・野洲学区・志津学区民生委員児童委員協議会交流会 2/10
- ・湖南 4 市会長等交流会 6/26
- ・湖南 4 市主任児童委員交流会 6/19
- ・子育て家庭訪問事業全体研修 3/19

□野洲市障害者関係団体連絡協議会

市内に事務所を有する障害者関係団体が相互の連絡・協調を図り、障がい者福祉の向上とその発展に寄与することを目的としている障害者関係団体連絡協議会の活動支援を行いました。

【主な活動支援】

- ・役員会 10 回
- ・先進地視察研修 2/15～16 シェア金沢 12 名参加
（テーマ）地域共生のまちづくりについて
- ・福祉をすすめる懇談会 3/3 コミセンきたの 96 名参加
（映画上映会）映画「共に歩く」～共依存とは～
認知症、アルコール依存症、DV、児童虐待、自傷行為など、近年増加している「共依存」をテーマとした課題を抱える家族のさまざまなあり様から障がい者理解を深めることを目的に実施しました。

(8) 障がい福祉事業

市内の福祉団体・施設と協働し、障がい者がスポーツや交流事業を通して、体力の維持及び相互の親睦を図ることを目的に開催しました。

内 容	スポーツ大会	福祉交流事業
期 日	6 月 24 日(土)	7 月 28 日(金)
場 所	なかよし交流館	ビワコマイアミランド
参加者数	191 名	280 名

野洲市障がい児サマースクール・スプリングスクール事業に職員も参加協力し、障がい理解に努めました。

	期 間	延べ参加職員数
スプリングスクール	平成 29 年 4 月 4 日～4 月 6 日 平成 30 年 3 月 26 日～3 月 30 日	2 名
サマースクール	平成 29 年 7 月 24 日～8 月 24 日	17 名

(9) 母子・父子家庭ふれあい事業

ひとり親家庭の親と子を対象としたレクリエーションを行い、交流や情報交換の場をつくり、当事者活動の支援を行いました。

内 容	親子ふれあいバス旅行	親子料理教室
期 日	8 月 6 日 (日)	10 月 29 日 (日)
場 所	文化パーク城陽・宇治市散策	コミュニティセンターきたの
参加者数	24 名	台風のため中止

内 容	クリスマスのつどい	親子料理教室
期 日	12 月 24 日 (日)	2 月 25 日 (日)
場 所	コミュニティセンターみかみ	コミュニティセンターきたの
参加者数	53 名	参加者 1 組(辞退)のため中止

(10) 遺族援護事業

戦没者等の慰霊事業・災害殉職者追悼法要の挙行と事業助成を行いました。

* 法要 「28 年災害殉職者追悼法要」

9 月 25 日 (月) 野洲川記念公園 (野洲市六条) にて

* 事業助成 ・ 戦没者追悼事業助成金 ・ 兵主大社戦没者慰霊祭
 ・ 御上神社戦没者慰霊祭 ・ 忠魂碑維持管理費

4. 相談支援事業

(1) 地域福祉権利擁護事業

認知症高齢者、知的障がい・精神障がいのある方で判断能力が不十分な方を対象に、福祉サービスの利用手続きや利用料の支払、日常的な金銭管理等の援助を行いました。

	認知症高齢者等		知的障害者等		精神障害者等		その他		合計	
	H29	H28	H29	H28	H29	H28	H29	H28	H29	H28
初回相談件数 (問合せ含)	22	23	8	10	13	13	5	3	48	49
相談援助件数	1,200	1,288	1,105	849	2,340	1,974	264	264	4,909	4,375
契約締結件数	3	5	4	3	3	4	3	0	13	12
終了件数	8	6	1	3	5	4	1	0	15	13
実利用人数	17	22	21	18	26	28	5	3	69	71

□契約判定審査会

期日	審査件数	期日	審査件数
4月21日(金)	3件	11月22日(水)	1件
5月2日(火)	1件	11月27日(月)	1件
6月19日(月)	1件	12月8日(金)	1件
7月27日(木)	2件	1月10日(水)	2件
10月23日(月)	2件	2月8日(木)	1件
11月1日(水)	1件		

◎事業効果

日々の暮らしのなかで抱える様々な不安や困りごとについて随時相談を受け、日常的金銭管理の支援のみに留まらず生活全体の課題解決に向けて、各関係機関と連携を図りながら支援ができました。

(2) 福祉資金・生活福祉資金貸付事業

経済的な問題を抱えている方の生活を支援し、世帯の自立を図るため資金の貸付相談を行いました。

		平成29年度	平成28年度
相談件数		117	103
生活福祉資金貸付件数 (辞退・不可含む)	総合支援資金	1	0
	緊急小口資金	4	6
	福祉費	1	5
	教育支援資金	1	3
市社協小口資金貸付件数		40	33

□貸付審査会 50件

◎事業効果

各関係機関との連携をとることで、貸付相談を通じて相談者の抱える様々な生活課題にも目を向け、世帯の自立に向けた相談体制をとることができました。

(3) その他の相談 (再掲)

家計・経済に関する相談	117	健康・医療に関する相談	412	家族・近隣に関する相談	70
高齢福祉に関する相談	11	権利擁護に関する相談	48	その他	7

(4) 障がい者相談支援事業

障がいのある人が望む自立した日常生活又は社会生活を送ることができるよう、本人や家族のニーズや抱える課題に対してきめ細かく対応し、必要に応じて本人にあった適切な障がい福祉サービス等に結びつけていくための相談支援を行いました。またサービス等利用計画等を作成する特定相談支援事業・障がい児相談支援事業とともに障がいに関する総合的な相談（一般相談）を実施しました。

□計画相談支援（特定相談支援事業・障がい児相談支援事業）

サービス等利用計画についての相談及び作成などの支援が必要と認められる場合に、障がい者（児）の自立した生活を支え、各々が抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援しました。また一人ひとりの特性にあったサービスが提供されているか、他に課題がないか定期的なモニタリングを行いました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規計画作成件数	2	2	0	1	1	1	1	1	3	0	0	1	13

□一般相談支援

障がいのある人の福祉に関する様々な問題について相談に応じ、必要な情報の提供、障がい福祉サービスの利用支援等を行うほか、権利擁護のために必要な援助も行いました（・福祉サービスを利用するための情報提供、相談 ・社会資源を活用するための支援 ・社会生活力を高めるための支援 ・専門機関の紹介等）。また介護保険と自立支援（障がい）のサービスを併用される方の一般相談での支援のほか、一般就労されている方の生活を支えるための相談等も行いました。

相談内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
福祉サービスの利用等に関する支援	359	328	403	177	202	267	305	229	185	198	253	169	3,075
就労に関する支援	79	21	53	11	19	21	47	27	24	32	38	16	388

社会参加・余暇支援活動に関する支援	187	99	111	46	34	39	14	11	4	6	25	8	584
保育・教育に関する支援	12	10	14	1	0	2	4	4	5	7	7	6	72
障害や症状の理解に関する支援	179	74	42	7	10	15	13	2	15	3	17	12	389
健康・医療に関する支援	103	42	51	22	64	58	77	54	24	30	50	23	598
不安の解消・情緒不安に関する支援	156	70	118	33	42	85	156	73	64	85	104	70	1,056
家族関係・人間関係に関する支援	87	31	66	26	35	18	27	22	18	11	12	9	362
家計・経済に関する支援	10	5	4	2	2	12	13	6	7	8	16	22	107
生活技術に関する支援	241	75	124	45	47	56	66	35	35	43	48	22	837
権利擁護に関する支援	5	4	3	4	4	7	13	3	7	0	2	9	61
その他	91	20	33	10	16	4	15	3	4	2	13	3	214
合計	1,509	779	1,022	384	475	584	750	469	392	425	585	369	7,743

(相談支援を利用している障がい者等の人数：障害内訳人数)

	実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障がい者	197	45	0	136	31	0	0	6
障がい児	118	7	0	95	3	0	0	17
計	315	52	0	231	34	0	0	23

(会議への参加件数)

	件数
ケース会議	171
その他の会議	207
合計	378

(訪問・来所の件数)

	件数
訪問件数	587
来所件数	74
合計	661

◎事業効果と課題

今年度は計画に基づいて現状の生活を観察しながらモニタリングを行い、「計画に沿った適切なサービスを受けられているか」「問題や課題となることはないか」「目的に向けて順調に進んでいるか」などを確認し、計画に基づく振り返りを行なうことで日常生活の現状の把握を深めてきました。今後はモニタリングをきめ細かくすることで、利用者や家族の課題に気づき、適切な対応が出来るようにします。またサービス事業所からの利用時の状況を確認しながら連携をとることに努めます。

5. 学童保育所運営事業

保護者が労働等により昼間家庭にいない児童に対し、放課後等で適切な遊び及び生活の場を提供し、児童の健全育成を図りました。

*在籍児童推移（平成29年度）

学童保育所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北野第1	44	44	44	46	47	46	45	44	44	43	43	41
北野第2	38	38	39	43	43	42	41	41	40	40	40	40
北野第3	41	42	42	46	46	42	42	42	42	39	39	38
北野第4	47	47	47	47	46	46	46	46	45	45	44	44
祇王第1	38	38	38	39	37	36	37	37	36	36	36	36
祇王第3	41	42	42	42	42	38	38	37	39	38	39	39
祇王第4	41	39	39	40	39	35	35	35	35	35	33	32
祇王第5	37	37	37	41	40	39	39	39	37	37	36	33
祇王第6	37	36	37	42	41	37	37	37	36	34	34	34
篠原	68	67	66	70	69	62	63	63	61	56	54	52
中主第1	51	51	49	53	51	48	48	48	48	46	46	46
中主第2	43	44	44	43	43	42	41	41	40	37	36	36
中主第3	56	57	57	60	59	55	54	54	52	52	50	46
中主第4	56	55	55	60	57	50	50	49	46	46	46	43
三上第1	29	30	30	31	29	26	26	26	27	27	26	25
三上第2	30	28	28	29	29	25	25	25	25	25	25	25
野洲第1	36	35	35	36	33	29	29	28	30	29	29	28
野洲第2	37	37	37	37	37	33	32	33	32	32	32	32
野洲第3	35	34	34	37	38	34	33	33	33	33	33	32
野洲第4	37	37	37	36	35	33	33	33	33	33	33	31
野洲第5	39	39	39	40	38	35	35	34	34	33	33	31
野洲第6	34	37	35	37	36	33	32	31	31	31	32	31
野洲第7	39	39	39	39	39	30	30	30	30	30	30	29
合計児童数	954	953	950	994	974	896	891	886	876	857	849	824

□学童保育所運営協議会

学童保育所運営に関わる内容について協議を行いました。

(行政担当、小学校、民生児童委員、自治会、保護者代表、指導員代表にて委員構成)

	開催日	協議・報告内容
第1回	5月26日(金)	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度野洲市学童保育所入所児童の状況について 学童保育所活動紹介(継続事業)について 平成25年度「野洲市こどもの家持続ある運営を考える委員会」提言に伴う課題対応の報告について 平成29年度「野洲市こどもの家持続ある運営を考える委員会」の報告について
第2回	11月24日(金)	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度野洲市こどもの家(学童保育所)入所申請について 平成30年度野洲市こどもの家(学童保育所)特別開所について 学童保育所における「土曜保育申請」の受付について
第3回	3月9日(金)	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度野洲市こどもの家(学童保育所)入所申込状況について 「土曜保育」受付状況と利用申込みについて

□学童保育所職員研修

期日	研修内容	参加数
5月23日(火)	摂食嚥下障害児相談支援研修	1
5月25日・26日	甲種防火管理新規講習	2
5月27日(土)	重症心身障害児の基本的理解と療育支援	1
6月6日(火)	職員人権研修	101
6月9日(金)	新人研修	17
6月10日(土)	ダウン症児の基本的理解と療育支援	1
6月13日(火)	摂食嚥下障害児相談支援研修(ダウン症)	1
6月15日(木)	人権啓発基礎研修会	10
6月28日～7月7日	市内学童保育所保育交流研修(新人)	15
6月22日～27日	普通救命講習(全4回)	37
6月28日(水)	実践記録の意義～子どもの理解のための視点と働きかけを記録とどうむすびつけるか～	51
7月7日(金)	明日から使える1UPセミナー「夏休みに使える科学あそび」	3
9月21日(木)	こどものかぜ(集団生活で注意が必要なこと)	37
10月9日(祝)	滋賀県学童保育指導員学校	6
7月15日(金)	アレルギー児童対応(アナフィラキシー対応)研修	42
10月30日～11月6日	市内学童保育所保育交流研修	18
10月31日(火)	護身術研修会(さすまたの使い方)	10

11月5日～12月3日	滋賀県放課後児童支援員認定資格研修（北部会場：全4日）	6
10月24日（火）	子どもの発達と遊びについて	12
11月7日（火）	アンガーマネジメント実践講座	12
11月21日（火）	放課後デイサービスについて	16
11月28日（火）	絵を読もう～絵本の読み方、楽しみ方～	21
11月11日（土）	「園・学校や外出時における食物アレルギー対応の実際」	4
11月2日（木）	実技研修	65
11月22日（水）	実践報告会	87
12月10日（日）	滋賀県学童保育研究集会	20
12月14日～1月19日	滋賀県放課後児童支援員認定資格研修（南部会場：全4日）	8
1月27日（土）	見えない貧困に光をあてる～子どもの支援の現場から～	15
12月3日（日）	園・学校や外食時における食物アレルギー対応の実際②	10
2月7日（水）	学童保育のいまとこれからを考える学習会	1
2月8日（木）	実践報告会（実践報告書発表）	44
3月2日（金）	明日から使える1UPセミナー「体験脱出ゲーム」	1

□学童保育所入所案内説明会

- ・平成30年度学童保育所の入所申込みについての説明会を開催しました。
*開催日：10月14日（土） コミュニティセンターなかさと 大ホール
参加者 45名（保育受付23名）

□学童保育所入所準備説明会

- ・平成30年度学童保育所の入所予定者を対象に準備説明会を開催しました。
- ・学童保育所入所に際しての基本的説明の後、各小学校区単位に分かれての具体的な生活の流れの紹介を行い、保護者の入所に際しての不安を解消するように努めました。
- ・平成30年4月から実施する「土曜保育」の会場（北野第3、4学童保育所）事前見学会をしました。
*開催日：3月10日（土） コミュニティセンターきたの 大ホール
参加者 83名（保育受付36名）

□学童保育所在籍児童の福祉教育活動

- ・学童保育所事業の一環として、児童の地域福祉やボランティア活動への参加機会を作りました。
*人権学習（人権擁護委員よる人権紙芝居）夏休み保育期間中に実施
7/31 会場 中主第3学童保育所（中主学童保育所4、5、6年生対象）
8/17 会場 野洲第7学童保育所（野洲学童保育所1年生対象）
*共同募金運動街頭啓発活動
10/2 赤い羽根共同募金（野洲、中主学童保育所児童）
12/1 歳末たすけあい募金（野洲、中主学童保育所児童）

- *地域行事への児童参加
 - 7/16 コミセンきたの祭り（北野学童保育所）
 - 11/12 トレトレ祭り（篠原学童保育所）
 - 11/19 悠紀祭り（三上学童保育所）
- *地元企業ボランティア活動への協力（オムロン野洲事業所訪問）
 - 7/31, 8/1 三上第 1.2 学童保育所児童
 - 8/7, 8 篠原学童保育所児童

◎事業効果

利用者数の推移と学童保育所数

・利用児童・運営推移（5/1 現在）

平成 26 年度	800 人	20 学童保育所
平成 27 年度	843 人	21 学童保育所（※中主第 1 学童保育所開所）
平成 28 年度	933 人	22 学童保育所（※北野第 1 学童保育所開所）
平成 29 年度	953 人	23 学童保育所（※野洲第 7 学童保育所開所）

利用者数の増加に対応して、3年間で3学童保育所を新たに開所し適正規模での安定運営に努めました。

加えて、利用児童数の最も多い夏季保育期間（7/22～8/25）には、篠原学童保育所で小学校の空き教室をお借りして、分割保育を実施して児童の安全な居場所を確保しました。

6. ファミリー・サポート・センター事業

子育て家庭の仕事と育児の両立を地域で支援するため、さらに育児に対する不安のある保護者や地域において孤立しがちな保護者に対して支援し、子どもの健やかな成長を守ることを目的として、子育てを援助したい人と子育ての援助を受けたい人が、お互い会員になって助け合えるように相談・調整して支援を行いました。

□会員数

	平成 29 年度	平成 28 年度
おねがい会員	296 名	273 名
まかせて会員	103 名	97 名
どっちも会員	59 名	51 名
合 計	458 名	421 名

□会員事前打ち合わせ 65 回

□活動別事業報告

活 動 内 容	件 数 (回)	
	平成 29 年度	平成 28 年度
保育園・幼稚園の登園前の預かり及び送り	268	257
保育園・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	382	357
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	1	1
学童の登校前預かり	0	2
学童の迎え及び放課後の預かり	192	353

学童保育所の朝の送り	36	60
学童保育所の迎え及び帰宅後の預かり	1120	958
学童保育所からの帰宅後の預かり	0	0
保育所・学校等休み時の援助	1	1
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	48	3
保護者等の他の子どもの学校行事の場合の援助	10	45
保護者等の外出の場合の援助	35	25
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	4	0
子どもの病後時の預かり	0	0
習い事の送迎	124	140
その他	4	66
合 計	2225	2263

□講習会の開催

	開催日	内容・テーマ	参加者数
第1回	9月12日(火)	親と子のかかわり方教室	13名
第2回	10月3日(火)	子育てサークルの活動報告と 簡単おもちゃづくり	11名
第3回	10月24日(火)	子どもの発達と遊びについて	19名
第4回	11月7日(火)	アンガーマネジメント実践講座	25名
第5回	11月21日(火)	放課後等デイサービスって	24名
第6回	11月28日(火)	絵を読もう～絵本の読み方・楽しみ方～	29名
第7回	2月20日(火)	幼児安全法①	12名
第8回	2月27日(火)	幼児安全法②	10名

□交流会の開催

	開催日	内容・テーマ	参加者数
第1回	7月11日(火)	ヨガ	14名
第2回	9月22日(金)	音楽宅急便	7名
第3回	12月5日(火)	まかせて会員懇談会	7名
第4回	2月6日(火)	みんな de ランチ	16名

□会報発行：会員対象にファミサポの情報を掲載した会報を発行(6.11月)

◎事業効果と課題

保育所や学童保育所等の夕方の送迎サポートの件数が多く、保護者の就労支援に深く関わっています。特に市外、県外勤務また、就労形態等により19時閉所の学童保育所の送迎に間に合わない家庭もあり、ファミサポの送迎サポートによって親は安心して就労することができ、また、子どもの不安定な生活を支えることができました。

一方、サポート活動ができる会員は固定化されている現状であり、ひとりの負担が大きくならないよう新規会員の登録が必要です。

7. 共同募金配分事業（歳末たすけあい募金事業）

共同募金運動の一環として、新たな年を迎える時期に支援を必要とする人たちが、地域で安心して暮らすことができるよう、住民の参加や理解を得てさまざまな福祉活動を行いました。

事業	内容	配分額（円）	備考
福祉施設等 助成事業	年末年始の交流活動事業・施設整備等への助成	575,000	25,000円×23施設
要保護世帯等 支援事業	市内の要保護世帯を対象に支援を目的に配分	2,184,000	10,000円×174世帯 1,500円×296名
ひとり親家庭 ふれあい事業助成	母子福祉のぞみ会が開催するふれあい事業の助成	100,000	
ひとり暮らし高齢者等 友愛訪問事業	ひとり暮らし高齢者宅を友愛訪問し、障がい者作業所作成のカレンダーをお届けする事業に配分	560,000	940部作成
日常生活支援事業	年末の大掃除や草むしり等の支援を行う事業に配分	230,784	90世帯
東日本大震災被災者 生活支援事業	市内に避難されている被災者世帯を対象に配分	60,000	30,000円×2世帯
事務費	通信運搬費・消耗品	10,786	
配分額合計 3,720,570円			

8. 在宅介護支援事業

□居宅介護支援事業

介護保険サービスの利用者及び家族等からの相談に介護支援専門員（ケアマネジャー）が応じ、利用者及び家族の希望や心身の状態を考慮し、適切なサービスが利用できるように、市・事業所・施設等との連絡調整を行い、居宅サービス計画の作成を行いました。

●介護給付（要介護1以上と認定された方のケアプラン作成）

（月別計画件数）

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	月平均
平成29年度	81	84	80	80	77	76	78	76	73	77	77	77	936	78.0
平成28年度	99	96	93	94	91	88	90	92	87	88	85	78	1,081	90.1

（介護度別延べ件数）

	要介護①	要介護②	要介護③	要介護④	要介護⑤	合計
平成29年度	364 38.9%	291 31.1%	165 17.6%	96 10.3%	20 2.1%	936 100%
平成28年度	396 36.6%	367 34.0%	180 16.6%	93 8.6%	45 4.2%	1,081 100%

●介護予防給付(要支援1・2と認定された方のケアプラン作成)

要支援1・2と認定された方へのプランは、野洲市地域包括支援センターから委託を受け作成(月別計画件数)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	月平均
平成29年度	5	5	4	5	6	7	7	6	6	6	5	4	66	5.5
平成28年度	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	46	3.8

(介護度別延べ件数)

	要支援①	要支援②	合計
平成29年度	10 15%	56 85%	66 100%
平成28年度	0 0%	46 100%	46 100%

- ・今年度新規契約19件ありましたが、契約終了者が26件(永眠14名、施設入所11名、支援1名)ありました。【平成28年度 新規契約者数8名 契約終了者数18名】
- ・新規契約の依頼内訳では、家族から12名、病院からの紹介が3名、地域包括支援センターから依頼が2名、支援から介護への変更が2名となっています。
- ・また新規契約を学区別で見ると中主学区が14名、野洲学区が3名、祇王学区と篠原学区が各1名となり、中主学区が多い要因としては、住居近くの居宅介護支援事業所を選ばれ、家族の来所や迅速な訪問で支援できる利点があり、地域の繋がりを感じています。

□介護支援専門員実務研修実習受入れ

- ・平成27年介護報酬改定で、居宅介護支援事業における特定事業所加算の算定要件に「実習の受入れ」が追加され、これから介護支援専門員となる実務研修として実習生2名を受け入れました。

実習期間：平成30年2月16日～2月23日(計3日間)

実習内容：訪問 4回・会議 2回 振り返り・カンファレンス 11回
模擬ケアプラン確認 1回

□野洲市居宅介護支援事業所連絡会議

期 日	研 修 内 容	参加人数
4月19日(水)	第1回・高齢者の特殊詐欺予防について ・臨時給付金について ・介護保険について ・高齢者福祉制度について ・地域包括支援センター事業について	2名
5月17日(水)	第2回・詐欺・悪質商法から高齢者を守ろう ～具体的手口と対策・見守りネットワーク	3名
6月27日(火)	第3回・専門性を高めよう ～利用者さんとケアマネの将来につながるマネジメントとは～	3名

7月18日(火)	第4回・民生委員さんとケアマネジャーとの情報交換会	2名
9月20日(水)	第5回・アセスメントから口腔機能向上につなげよう	1名
10月18日(水)	第6回・課題整理総括表の役割と活用方法(1回目)	2名
11月9日(木)	第7回・課題整理総括表の役割と活用方法(2回目)	2名
12月20日(水)	第8回・老人と酒(高齢者の飲酒について) ・総合事業実施方針について	2名
平成30年 2月21日(水)	第9回・福祉用具と住宅改修のアセスメントの視点	2名
3月14日(水)	第10回・障がい福祉サービスのいろは ～介護保険併用を念頭に～	1名

□居宅介護支援担当職員研修

期 日	研 修 名	主 催
6月23日(金)	平成29年度第1回野洲市高齢者虐待事例勉強会	野洲市
7月15日(土)	共に支えあう地域づくり講演会	野洲市
8月20・27日(日)	平成29年度 避難所開設・運営研修	野洲市
7月14日(金)	生活支援サービス体制づくりセミナー	日本福祉大学福祉政策評価センター
9月1日(金)	平成29年度滋賀県認知症研修会	滋賀県介護サービス事業者協議会連合会
10月10日(火)	平成29年度介護支援専門員専門課程Ⅱ(実務研修)	滋賀県社会福祉協議会
10月10日(火)	平成29年度第2回野洲市24時間訪問看護・介護検討会	野洲市
10月24日(火)	平成29年度第2回野洲市高齢者虐待事例勉強会	野洲市
平成30年 1月11日(木)	介護予防・日常生活支援総合事業に関する4市との意見交換会	滋賀県南部介護サービス事業者協議会
2月10日(土)	平成29年度滋賀県介護福祉士会 制度改正セミナー	滋賀県介護福祉士会
2月20日(火)	平成29年度介護サービス事業所・施設管理者等研修会	滋賀県介護サービス事業者協議会連合会
3月14日(水)	滋賀の縁塾スペシャル版 「課題を共有しあう話し方を学ぶ」	滋賀の縁創造実践センター
3月15日(木)	平成29年度高齢者虐待防止連絡協議会	野洲市
3月15日(木)	平成29年度野洲市地域包括連絡会議	野洲市

◎事業効果

本人・家族等からの相談に各関係機関との連携を図りつつ、社協の各部門である権利擁護事業・相談支援事業との連携体制強化により、細やかな情報共有を図ることで個別の課題に対し、同じ目標をもって支援を行うことができました。

また、今後は居宅介護支援事業所間との共同事例検討等を通じ、個別の課題から地域の課題を導き出す視点を持ち、生活支援体制整備事業の推進にも繋げていくことができるようしていきます。

9. その他事業

共同募金運動への協力

日本赤十字社資増強運動への協力